静岡市立芹沢銈介美術館 開館40周年記念展 ～冬編～
ジャパン
藍のある暮らし
ブルー
2022年1月4日（火）
⇒3月21日（月・祝）
静岡市立芹沢銈介美術館
静岡市駿河区登呂五丁目 10-5（登呂公園内）
TEL▶054-282-5522　HP▶www.seribi.jp
Twitter▶@seribi_shizuoka（フォローはこちら⇒）
芹沢銈介収集　麻の葉文絞染着物、麻の葉文板締着物

1

2

3

4

5

6

8

2021年6月15日に開館40周年を迎えた静岡市立芹沢銈介美術館。今年度最後の企画展「冬」編は、芹沢銈介の収集がテーマです。当館には芹沢本人の寄贈による世界各地の様々な工芸品4500点が収蔵されていますが、今回はその中でも点数が多く人気も高い「日本の藍染」に焦点を当てます。被衣（かつぎ）、夜着（よぎ）、火消衣装、刺子（さしこ）の労働着、風呂敷や油単（ゆたん）、のれん、馬飾りなど、藍染の名品150点を一挙公開します。芹沢が自らの目で選び親しんだ藍染の品々を、どうぞお楽しみください。

また「鶴亀松竹梅文のれん」「寿の字のれん」など、新年をあたたかくお祝いする芹沢銈介の代表作60点もあわせて展示します。

1.火消頭巾（ひけしずきん）、刺子（さしこ）手袋　2.波に鶴文夜着（なみつるもんよぎ）　3.刺子（さしこ）半纏、刺子（さしこ）足袋（たび）　4.菊唐草文筒描裂（きくからくさもんつつがきれ）　5.絞染腹掛（しぼりぞめはらかけ）、麻（あさ）の葉文絞染着物（はもんしぼりぞめきもの）　6.鶴丸文絞染着物（つるまるもんしぼりぞめきもの）　7.三番叟文万祝（さんばそうもんまいわい）、海老文馬飾り布（えびもんうまかざぬの）　8.恵比寿大黒文万祝（えびすだいこくもんまいわい）

7

【開館時間】9：00～16：30
【休 館 日】毎週月曜日（1/10、3/21は開館）、1/11、2/24
【観 覧 料】一般420円/高校生・大学生260円/小学生・中学生100円/未就学児無料
（団体割引は30名以上でご利用いただけます）
※静岡市内在住の70歳以上の方・小中学生（通学含む）無料
※障がい者手帳等の提示により本人及び同伴者1名無料

【交　　通】
<バ　　ス> 静岡駅南口22番バスのりばから「登呂遺跡」行き乗車、約12分終点下車
<タクシー> 静岡駅南口から登呂公園へ約10分
<東名高速> 静岡I.C.より約10分、日本平久能山スマートI.C.より約5分
<駐 車 場>登呂公園南側に有料駐車場があります（普通車400円/1日）

▲ 蒲田の工房前にて、たよ夫人と（1976年 81歳）

●ワークショップなどのイベントを開催する予定です。詳しくはホームページやTwitterをご覧いただくか、お電話にてお問い合わせください。
●新型コロナウイルス感染防止対策へのご協力をお願いします。

# 静岡市立 芹沢銈介美術館

静岡市駿河区登呂五丁目10-5（登呂公園内）
TEL▶054-282-5522　HP▶www.seribi.jp
Twitter▶@seribi_shizuoka（フォローはこちら⇒）